

市政に対する一般質問一覧表

平成29年第1回定例会

質問順位 1

議席番号 3番

氏名 佐々木 卓也

質問方式 一問一答 質問時間 10分

質問事件	質問の要旨
<p>1. 三沢市のインバウンド(外国人旅行者)に対する見解及び今後の対策について</p>	<p>政府は『観光先進国』への新たな国づくりに向けて、平成28年3月30日に新たな観光ビジョンを策定し、訪日外国人旅行者数を2020年に、従来目標の2000万人から4000万人とするなどの目標を掲げており、その実現により全国津々浦々で活発な異文化交流が生まれ、地域の産業・経済の足腰が強化されるとしている。</p> <p>そこで、三沢市の観光振興を図る1つの方策として、インバウンドに対するスタンス・考え方をしっかりと根幹に据え戦略的に取り組んでいくことが、観光・交流人口拡大による地域の活性化につながっていくと考えるが、三沢市のインバウンドに対する現状を踏まえた見解及び今後の対策について伺う。</p>
<p>2. 生活困窮者自立支援制度の取り組み状況について</p>	<p>国はここ数年貧困対策に力を入れ、平成25年12月に成立した「生活困窮者自立支援法」に基づく支援制度が平成27年4月にスタートし、また、平成26年8月には「子どもの貧困対策大綱」を閣議決定し、「貧困の世代間連鎖を断ち切る」との基本方針を掲げており、現在の貧困だけでなく、将来の貧困を防ぐ観点からの対策が求められている。</p> <p>そこで、「生活困窮者自立支援法」の施行から約2年経過したが、三沢市の生活困窮者自立支援制度の取り組み状況について伺う。</p>

質問事件	質問の要旨
<p>1. 第1次・第6次産業の海外への販路推進について</p>	<p>少子高齢化が進む中で、第1次・第6次産業の国内消費の減少が懸念されています。また、海外からの安価な輸入品の農水産物・加工品などが国内消費され、生産者にとってはどれも将来への不安材料です。</p> <p>そのような背景の中で、県・各市町村では、海外への販路を求める各生産者のために海外で県産品フェアなどを催し、日本の安心・安全をブランドとしてアピールしながら、行政と生産者が一丸となり販路拡大を進めています。また、青森県輸出拡大戦略において、2015年の農水産物の輸出額は約194億円、木材・紙及びその製品は約53億円、合計で247億円。2018年の目標額210億円と設定された中で、前倒しで達成しています。このような中、三沢市でも行政として地元生産者と共に、どのように海外市場開拓の政策に取り組み、考え進めるのかお伺いします。</p>
<p>2. 特区における英語教育について</p>	<p>平成18年4月から英語教育推進特区として市立小学校の1学年から6学年に「英語活動科」が新設され、小学校では英語指導助手(AET)を配置して、聞く・話すことを重視し、中学校では外国語指導助手(ALT)を配置して授業の支援やイングリッシュキャンプなどを企画して英語教育の向上に努めていますが、これまでにどのように成果が評価され検証されているのか、又、次期学習指導要領の改定案の中で、小学校の外国語活動を3,4年から始め、英語を5,6年で教科化するとあります。</p> <p>今後これらのことを踏まえながら特区として英語教育をどのように推進していくのかお伺いします。</p>

質問事件	質問の要旨
1. 健康問題	<p>健康都市宣言後の取り組みについて</p> <p>①平成27年5月25日に健康都市宣言大会が行われ、減塩やバランスの良い食事、適度な運動、健康診査の受診など、一人ひとりの意識向上と行動の推進を誓いました。健康づくりは、健康推進課だけではなく市民スポーツ課、国保年金課、市立三沢病院など健康にかかる様々な部署の職員が健康都市宣言の目的を意識し、第2次健康みさわ21計画に基づき事業を進めているものと思いますが、これまでどのような取り組みをしてきたのかお伺いします。</p> <p>②健康に関する様々な取り組みを行った結果、どのような成果があったのか、なかったのか、また、それを踏まえて今後の事業展開をどのようにしていく考えなのかお伺いします。</p> <p>③人間ドックは早期発見に有効な健診であり、多くの企業、公共団体等で実施されているものと思いますが、国民健康保険加入者は健診率が低いものと感じています。三沢市の国民健康保険加入者の日帰りドックの健診率は、県内10市の中で、どのような状況（順位）なのかお伺いします。</p>

質問事件	質問の要旨
1. 行政問題	<p>1. 「三沢市高校生議会」について 1月10日に開催された「三沢市高校生議会」において、8名の高校生が市政に対する一般質問を行いました。そこで高校生議会に関する所感と、今後の開催について伺いたい。</p> <p>2. 「市民マラソン大会」の開催について 健康づくりとともに、観光振興・地域活性化を目指しての「市民マラソン大会」の開催に向けて、本市のご見解を伺いたい。</p>
2. 市民生活問題	<p>「高齢者免許返納優遇者特典」の導入について 平成27年第4回定例会における再質問に対し、「当市の支援策としては、バスの利用に係る支援を中心に具体的な検討をして参りたい。」との答弁でありました。 そこで、これまでの検討内容と導入時期について伺いたい。</p>
3. 健康問題	<p>市民の健康増進・受診率向上の取り組みについて 山梨県甲州市では、健康カレンダーや健康診断希望調査票を作成し、市民へ受診勧奨を行っています。本市においてもこのような先進事例を参考に、取り組んでいく考えはないか伺いたい。</p>
4. 教育問題	<p>小・中学校における「がん教育」について 昨年12月「改正がん対策基本法」が成立したことを受け、文部科学省は新年度以降、学校における「がん教育」を全国展開することを目指すとしています。 そこで国の動きと連動し、本市においても「がん教育」の実施に向け検討されるのか、ご見解を伺いたい。</p>